

県内の各地域では、各地域固有の環境の特性を踏まえ、地域における県民、事業者、行政の協働により健全で質の高い地域環境づくりを進めるため、各地域で流域アジェンダやみずすまし推進協議会での取組が展開されています。ここでは、特徴的な地域の取組について紹介します。

大津地域

～環境にやさしい循環型の暮らしづくり～

「大津の森の木で家を建てよう！」プロジェクトは、住まい手よし、つくり手よし、環境よしの三方よしの住まいづくりをコンセプトに、森林所有者から住まい手まで関係するすべての業種の人達が集まり、顔の見える関係を大事にしながら、木の伐採から利用まで、一連の流れを通じて地元の山の木を利用することの大切さをみんな考え、元気な地域づくりを目指し活動しています。

プロジェクトでは大津の山から出される大津産材を、市民等によって構成される「おおつ環境フォーラム」に、第三者として中立の立場で産地証明（木材に刻印を打つ方法）してもらうことになり、協働で取り組む活動が行われています。これまでに大津産の木の家が6棟誕生しました。山の木が家になっていく過程を多くの方に知ってもらうために、「大津の森の木伐採体験・製材所見学・大工さんの刻み見学会」等も実施しています。

またプロジェクトでは、家づくり以外にも木材の様々な活用法を検討しています。大津市内の中学校で、大津産材を技術科授業の教材に提供し、メンバーが「木材・木工の授業」と「森林環境の授業」を行っています。

WEB <http://park23.wakwak.com/~otsu-mori-p/index.html>



刻印作業と産地証明材マーク

湖南地域

～ふるさとの自然と水をよみがえらせよう～

琵琶湖南湖の水質改善を図るため、「マザーレイク21計画」や「赤野井湾流域流出水対策推進計画」に基づき、赤野井湾や木浜内湖などの浄化対策事業を、地域住民との協働によるワークショップや現地体験会の開催等を通じて推進するとともに、家棟川、赤野井湾流入河川、および葉山川の流域を対象として設置した「湖南流域環境保全協議会」では、環境学習として「河川見て歩き」、「あやめ浜まつり」、「ヨシ再生」、「里山自然観察」等を、調査事業として「身近な水環境の全国一斉調査」、「琵琶湖一周調査」を地域住民とともにを行い、環境保全に取り組んでいます。

また、琵琶湖流域ネットワーク委員会や鹿深の里甲賀流域環境保全協議会との交流・連携を図るとともに、「こなん環境シンポジウム」を開催し、「環境と地域力」をテーマに協働システムの構築、山から琵琶湖までを考えた地域全体としての「持続可能な社会づくり」の推進に努力しています。

一方、「湖南地域みずすまし推進協議会」では、水田を取り巻く環境をフィールドとした生き物観察会や各種環境講座等を開催し、多くの人たちとのネットワークを築きながら、環境に調和した農業の推進と琵琶湖の環境保全を進めています。

さらに、野洲川下流域においては、その田園地帯に点在する自然や歴史、文化など有形・無形の地域資源を展示物として見立てた「屋根のない広い博物館＝田園空間博物館」づくりに取り組んでおり、平成18(2006)年10月に開館した野洲川歴史公園田園空間センターを拠点に、地域住民とともに「野洲川でんくう講座」の開催や野洲川にまつわる自然文化を知り、地域の良さを発信する活動に取り組んでいます。



こなん環境シンポジウム

甲賀地域

～人の環で進めよう鹿深の里づくり～

廃棄物の不法投棄や野外焼却などの未然防止・早期発見に努めるため、地域の住民や事業所による地域パトロール隊を結成し、「甲賀地域では不法投棄はできない！」を合い言葉に、行政と地域が連携した監視体制を展開しています。参加団体数は平成14年度の発足時の25団体から、平成19年度は34団体と拡大しています。

また、住民意見を反映した川づくりを進めるため、平成16年度より「水源の里・甲賀川づくり交流ひろば」を開催しており、平成19年度はこれまでの川づくりの成果を検証するため、「全体交流ひろば」を開催し、その結果をふまえて今後も「多自然川づくり」を推進していきます。

朝宮地域では、茶園から流れ出る肥料成分の浄化のために、河川へのヨシの植栽を行い、他にも甲賀市大河原地区では、棚田保全のために水土里ネット滋賀と棚田ボランティアとの協働による草刈りなど、地域の環境保全に向けた取り組みを行っています。

さらに、地域内の河川流域の水環境の保全を図るため、県民等と協働で取り組む「鹿深の里甲賀流域環境保全協議会」を設置し、河川の美化活動などの環境保全活動を展開しています。

滋賀県の地勢

琵琶湖のあらし

滋賀県の環境行政の枠組み

豊かで美しい自然環境の保全

健全な水環境の保全

快適な生活環境の保全

クリーンな新エネルギーの開発・導入

ゼロ・エミッションの取組の推進

確実な環境配慮の実践

新たな環境活動基盤の整備

地域における環境づくり

滋賀県庁の環境負荷低減への取組

滋賀の環境のあゆみ

東近江地域

～「エコパーク」をめざした環境づくり～

東近江地域では、従来の化石燃料に替わる環境に優しい新エネルギーの創出と、地域における資源循環型社会の構築を目指しています。

「東近江菜の花プロジェクト」では、農業者、企業やNPO等と行政が協働し、菜の花の栽培から廃食油の回収、バイオ・ディーゼル燃料への精製、そして公用車や農耕車・バス等への利用という循環の確立を目指しています。平成19年度は、25箇所のガソリンスタンドで家庭等から出る廃食油2,782リットルが回収されました。

「東近江木質バイオマスガス化発電」では、現在廃棄されている伐採竹や剪定枝等の木質系バイオマス廃棄物の有効利用を図るためにガス化発電試験を行っています。平成20年度は実用化に向けた調査検討を行っています。

また、わが国有数のヨシ群生地である西の湖とその周辺の自然そのものを美術館と見立てる「西の湖美術館構想」を地域住民主導で策定し、構想に基づく事業を展開しています。平成19年度は、西の湖美術館学芸員育成事業やヨシ刈り体験ツアーの実施等、西の湖の生態系の維持・復活や景観保全の活動、さらには西の湖のすばらしさを発信する活動に取り組みました。



西の湖のヨシ刈り体験

湖東地域

～パートナーシップで築く自然と共生した湖東地域づくり～

湖東地域では、森林資源の循環利用を目指した、木質バイオマスの利用を推進するため、産・学・民・官が連携して、木質ペレットを燃料とする「滋賀県版ペレットストーブ」を開発しました。ペレットストーブの導入を推進すれば、木質ペレットの利用が増加して、化石燃料の代替が進み、地球温暖化を少しでも抑制できることや、地域の間伐材や木材の利用を促進する効果が期待できるため、滋賀県版ペレットストーブの平成20年度以降の量産を目指して、現在、モニタリング等の最終調整を実施しています。また、湖東地域では、地域で生産される間伐材の製材端材を有効利用するため、県内では唯一であるペレタイザーを導入し、木質ペレットの製造、販売を開始しています。このように木質バイオマスを有効に利用することにより、湖東地域の森林が継続的に森林の多面的機能を発揮できるような、健全な森林づくりを目指しています。



滋賀版ペレットストーブ

湖北地域

～「水のある風景」と「田園風景」を守る環境づくり～

湖北の農業は稲作に特化しており、野菜や果物の生産は地域の消費に対して36%の供給にとどまり、県平均を大きく下回っています。一方、地域で穫れた新鮮で安心・安全な農産物に対する消費者のニーズは高く、近年開設された直売所では生産者の顔が見える農産物を求めて何処とも盛況です。

そこで平成19年度から、稲の育苗ハウスや農閑期の労働力、転作田などを有効活用し、農薬や化学肥料を通常の5割以下にする「環境こだわり農産物認証制度」の基準で園芸作物を栽培し、地域内消費の拡大と湖北を代表する農作物のブランド化を目指す「湖北の新しい特産物づくり事業」を展開しています。

環境に優しい栽培方法や新技術を会得するための研修を受けた40名を超える農家がメロンやトマト、イチゴ、ブルーベリー、イチジク、柿、ストック、トルコギキョウなどの栽培に取り組んでいます。

地域で生産された農産物を地域で消費する「地産地消」を積極的に進めることでフードマイレージは小さくなり、CO₂の発生抑制に十分貢献できると考えています。



「新花野菜セミナー」：果樹ハウスの現地研修

湖西地域

～見直そう自然の恵み－湖西からの発信～

湖西地域の自然や歴史、風土、生活などを、癒しの場・体験交流の場・環境学習の場として位置づけながら、バランスの取れた地域環境の保全を図り、地域の活性化に向けた新しい仕組みを地域ぐるみで考える「湖西・森と里と湖のミュージアム」構想を平成14(2002)年10月に策定しました。

平成19年度は、展開期として湖西地域の住民や活動団体が地域の魅力を再発見し、地域主体の取り組みが進展するよう、広報誌・ホームページによる住民参加の情報発信に支援を行っています。

また、平成17(2005)年1月の高島市の発足に伴い、旧5町の流域（環境保全）協議会で構成する「高島地域流域協議会」が同年3月に設立されました。湖西地域における身近な水環境や自然環境について地域に根ざした取組をより一層推進するため、平成19年度には水環境保全活動見学会や水生生物研修会などが開催されました。

他にも、新竹取物語事業（川づくり事業）の取組など自然環境の保全を行っています。



高島地域流域協議会 水環境保全活動見学会

滋賀県の地勢

琵琶湖のあらまし

滋賀県の環境行政の枠組み

豊かで美しい自然環境の保全

健全な水環境の保全

快適な生活環境の保全

グリーンな新エネルギーの開発・導入

ゼロ・エミッションの取組の推進

確実な環境配慮の実践

新たな環境活動基盤の整備

地域における環境づくり

滋賀県庁の環境負荷低減への取組

滋賀の環境のあゆみ